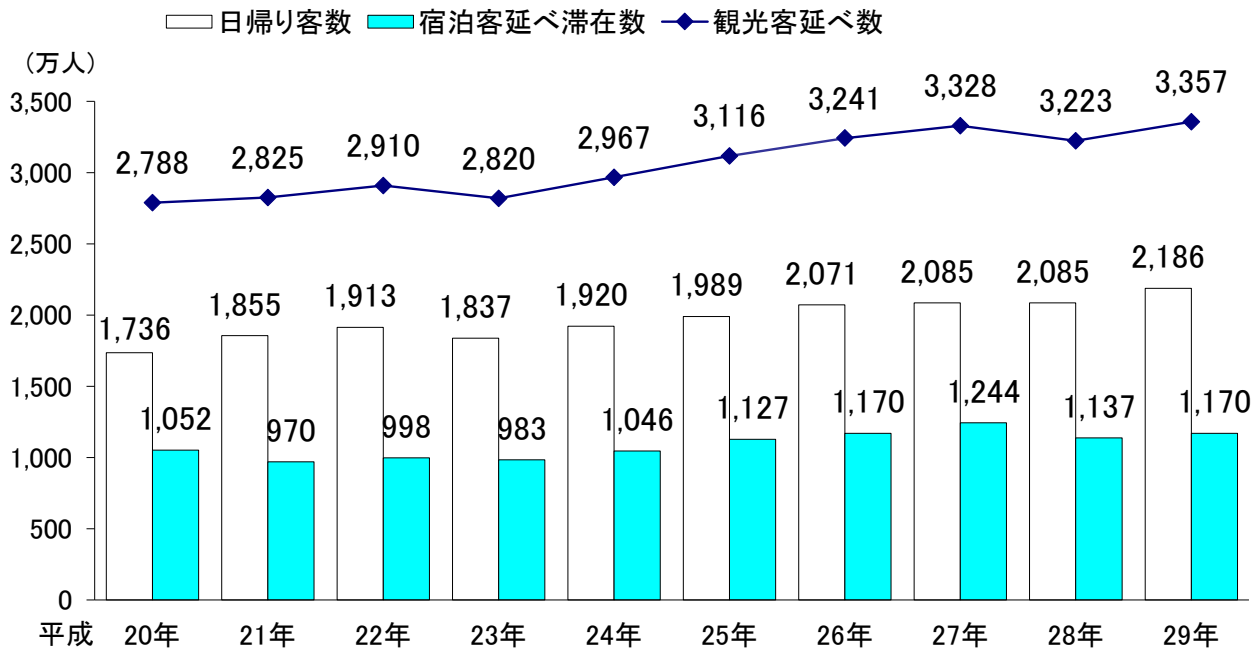


年次別観光客推移



平成29年の観光客数は、平成28年4月に発生した熊本地震の影響から持ち直したこと、クルーズ客船の入港隻数が過去最高を4年連続で更新し、また、外国人宿泊客数も過去最高となったことなどから、観光客延べ数は134万人増加し、過去最高であった平成27年を更に上回る3,357万人（対前年比+4.2%）となった。

特に日帰り客は、101万人と大幅に増加し、2,186万人（対前年比+4.8%）となって、6年連続で過去最高を更新した。

一方、宿泊客は、平成28年の「九州ふっこう割」、「ねんりんピック長崎2016」及び「長崎デスティネーションキャンペーン」の反動減や天候不順などの影響が見受けられたものの、熊本地震の影響から回復傾向にあり、宿泊客延べ滞在数は、平成28年から33万人増の1,170万人（対前年比+2.9%）となった。

平成29年の観光消費額は、過去最高であった平成27年の3,839億円を上回り、3,932億円（対前年比+7.3%）となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は、1,919億円（対前年+12.9%）となり、宿泊客は2,013億円（対前年比+2.4%）となった。

（県観光振興課）